

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 杉原 雅行 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	介護保険制度施行支援事業		
目的	(1) 対象	高齢者（要介護者）	
	(2) 意図	適正な介護保険サービスが受けられるようにする。	
事業概要	適正な介護保険サービスが受けられるようにするため、介護保険サービス事業者や介護職員等に対して次のような事業を行う。 ・介護保険指定事業者指導監督事業 ・指定事業者指定・管理事業 ・老人保健施設整備資金借入金利子補給事業 ・苦情処理体制整備事業 ・介護保険審査会運営事業 ・訪問看護支援事業 ・介護保険市町村指導事業 ・認定調査員等研修事業 ・老人福祉施設整備事業 ・要介護老人地域サービス施設整備資金元利補給事業 ・介護人材確保・定着事業		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	介護保険サービス利用者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	各介護保険サービスごとの利用者数の合計	目標値		36,949	38,226	
			実績値	36,762	38,425	40,027	41,372		
			達成率		104.00	104.70	105.00		%
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	680,300	308,176
うち一般財源(千円)	45,581	50,052

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

①介護給付費（決算額） H20：56,027百万円 → H26：74,272百万円
②要介護・要支援認定者数及び高齢者人口に占める割合（各年10月末時点） H20：39,134(19.0%) → H26：46,379(21.0%)
③後期高齢化率(75歳以上人口の割合) H22：16.2% → H26：17.6%

6. 成果があったこと（改善されたこと）

介護保健サービスを必要とする者に対し、確実に介護保健サービスを提供している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
目標は達成しているが、認定率は上昇傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」
認定率が上昇する75歳以上の人口が増加したためと考えられる。

③原因を解消するための「課題」
介護予防の推進を図りつつ、必要な介護保険サービスが適正に提供されるよう事業者に対する指導等を行う。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成27年度から始まった第6期介護保険事業支援計画に基づき、必要な介護保険サービスが適正に提供されるよう事業者に対する指導や、市町村（保険者）に対する指導や助言により支援を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）